

知的障害教育における 「主体的・対話的で深い学び」に関する研究

研究の目的

新学習指導要領の趣旨を踏まえ、知的障害教育における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善のポイントを明らかにする。知的障害教育における「主体的・対話的で深い学び」の理論や授業改善の実践例をブックレットにまとめて発信することで、県内の特別支援学校の授業改善の促進を図る。

研究の内容

特別支援学校の研究協力委員、研究協力校の「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善の実践についてブックレットにまとめ、実践事例から明らかになった授業改善のポイントについて提案する。

研究の成果

【ブックレット『知的障害教育における「主体的・対話的で深い学び」』の作成】

＜ブックレットの構成＞

◆はじめに

【学びを深めるための7つのポイント（単元構想）】

- ① 教科等の「**見方・考え方**」を確認する
- ② **適切な目標**を設定する
- ③ **心が動く**工夫をする
- ④ **考える**工夫をする
- ⑤ **振り返る**工夫をする
- ⑥ **知的障害**に対する支援・配慮をする
- ⑦ **個**に対する支援・配慮をする

◆実践事例

- ①小学部・生活単元学習「3くみらんどをつくろう」
- ②中学部・保健体育科「ワンベースキックボールをしよう」
- ③高等部・作業学習「空き缶のリサイクルをしよう」
- ④高等部・社会科「交通系ICカードのメリット・デメリットを考えよう」

◆まとめ

